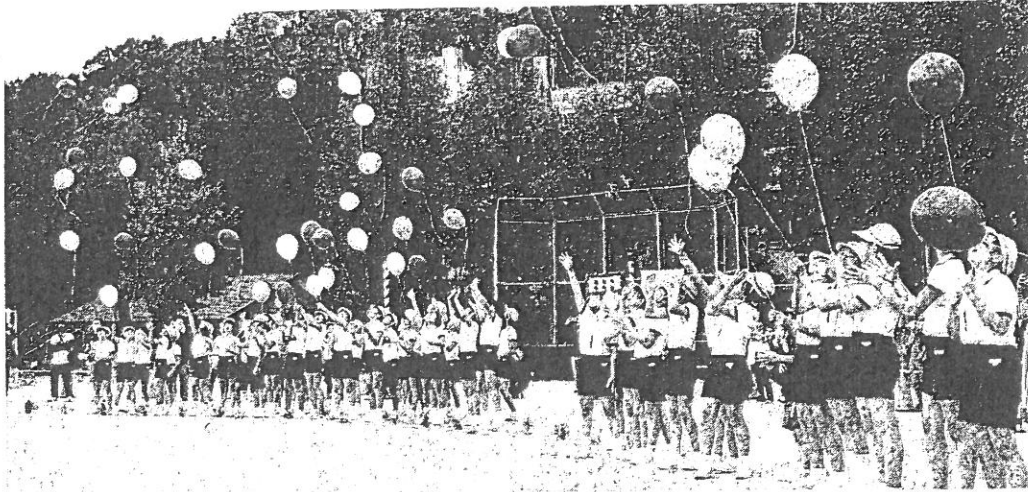


2020(令和2)年  
11月12日  
木曜日

南  
日  
本  
新  
聞

”空高く  
天まで届け。”  
—コロナに負けない—

新型コロナ収束バルーンに込めて



新型コロナ収束を願い、風船を飛ばす児童 〓鹿児島市の西伊敷小学校

### 西伊敷小でサプライズ企画

西伊敷小学校（鹿児島市）で運動会が1日あり、児童335人が新型コロナウイルス収束の願いを込め、風船を飛ばした。「子どもたちを元気づけよう」と保護者がサプライズで企画した。

閉会式後、保護者が「新型コロナに負けず前を向こう」と児童一人一人に、太陽光や水で分解される天然ゴムの風船を手渡した。疫病退散の妖怪「アマビエ」に扮（ふん）したPTAの中川光弘会長

(41)も登場。カウントダウンに合わせて、一斉に風船を手放した。

6年の下野桜河君は「驚いたが、今年一番の思い出になった」。手塚はるさんは「学校生活を頑張ろうと思った。保護者に感謝したい」と話した。

(鹿島彩夏)